

小さな親切運動、むさし苑に車いす寄贈

7月24日、特別養護老人ホームむさし苑に、「小さな親切」運動国東市支部(都留俊一郎支部長)から、車いす1台とポータブルトイレ2台が贈られました。入所者のみなさんは「大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。小さな親切運動のみなさんは毎年、福祉施設に車いすを寄贈しています。



新 ALT にステファニーさん着任

新しくALT(外国語指導助手)に着任したアメリカ出身のステファニーさんが、市長にあいさつに訪れました。前任者のマイルズさんに代わり2学期から竹田津・伊美・熊毛・国東・小原の各小学校と国見・国東中で指導を行うステファニーさんは、「子どもたちに英語の楽しさやアメリカの文化を伝えていきたい」と話していました。

大分県の代表として全国・九州大会へ

7月下旬に行われた県中学校総合体育大会で優勝や上位入賞した市内中学校の選手16人が8月1日、市長に全国・九州大会への出場を報告しました。選手を代表して国東中学校柔道部の友末琴乃さん(3年)が、「県の代表としてはずかしくないようがんばってきます」と全国大会への決意を述べました。



国東産和牛の品評会

8月6日、「第6回国東市畜産共進会」が杵築市山香町の豊後北部家畜市場で開催されました。市内から和牛若雌の部第1部に5頭、和牛育成の部第2部に7頭の出品があり、発育状況や体高・体重について審査が行われ、下記のとおり入賞が決定しました。(敬称略)

- 第1部(1歳未満) ■グランドチャンピオン賞「かつゆり」山下日出男(国東町重藤) ■最優秀賞「ゆきな」南寿男(安岐町西本)
- 第2部(1歳以上) ■グランドチャンピオン賞「みやび」清原誠二郎(安岐町成久) ■最優秀賞「みち13」衛藤貢(安岐町山口)

ようこそ国東へ! ドイツの青少年たちが交流

8月3日~7日、「日独スポーツ少年団同時交流事業」でドイツのバイエルン在住の15~21歳の青少年8名が国東市を訪れました。テニスやサッカー、柔道などで活躍する青少年たちは、市内5家庭でホームステイをしたり、国東高校弓道部員と交流を深めるなど、市内各地で貴重な体験を行いました。



大分銀行ドームに100名を超える大応援団

8月10日、大分トリニータvs柏レイソル戦の国東市民観戦バスツアーに、市民104人が参加し熱い声援を送りました。お孫さんと一緒に参加した岡政幸子さん(武蔵町向陽台)は、「初めて観戦しましたが、スタジアムの迫力や臨場感、またゴールを目指して、懸命に走る選手の姿にとっても感動しました。また観戦したいです。」と話していました。

ペトロ・カスイ岐部に学ぶ

8月25日、アストくにさきで「ペトロ・カスイ岐部フォーラム」が開催されました。国見ふれあいコーラスの合唱、熊毛小学校児童によるローマ教皇からの手紙の発表につづき、上智大学の川村信三教授による記念講演やペトロカスイ岐部の研究者らによるパネルディスカッションが行われ、ペトロカスイ岐部の功績や精神の偉大さを再認識した一日となりました。

